

今日のシライ中

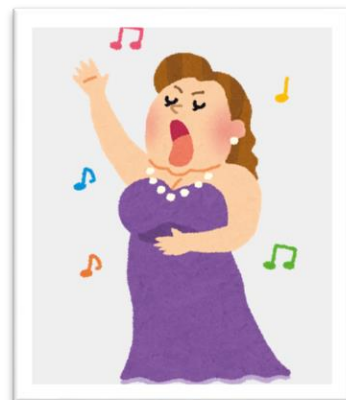
本の翼

白井中学校図書室から VOL.31

早いもので、今年も残り1か月ほどとなりました。テレビからは、「音楽」のスペシャル番組もたくさん流れてきます。例年とは違う、特別なクリスマスになってしまうかもしれませんが、「音楽」は、理屈なしで人を幸せな気持ち、楽しい気持ちにしてくれますね。今回は、「音楽」にまつわる本を2冊紹介します。少し早めのクリスマスプレゼント！

『オペラでたのしむ名作文学』 中野 京子

今年の「朝ドラ」は、作曲家、古関裕而さんの物語でした。その中で「三浦環」さん演じる、オペラ「蝶々夫人」の話題が取り上げられていました。「文学作品」と「音楽・舞台」は、昔から深いつながりがあり、例えば、ミュージカル、バレエ、オペラ……。もちろん、歌舞伎！様々な作品が音楽と結びつき、時代を超え多くの人々に愛されています。その一つ、メリメ作の「カルメン」。ビゼー作曲のオペラの方が有名ですね。（絶対一度は聞いたことがありますよ！聞いてみてください。）強烈な個性と魅力を併せ持つ悪女「カルメン」と闘牛士「ホセ」の恋物語（ちなみに、「ホセ」には純真無垢なミカエラといういいなずけがいます。）有名なフレーズ、～♪恋は、気ままな小鳥。だれにも飼いならすことなんかできやしない～♪その他にも、「シンデレラ」「フィガロの結婚」「ジーザス・クライスト・スーパースター」……。綺羅星のごとく輝く作品の魅力、裏話が満載の本です。（余談ですが、「中野京子」さんは、ベストセラー「怖い絵」シリーズの著者としても有名です。この本も大変面白いです。3Aの学級文庫にあります！声をかけてね！）



『天/音。あまおと』 EXILE ATSUSHI

11月にEXILEを卒業すると発表したATSUSHIさんが、今から7年前に書いた作品です。4歳でピアノを始め、進学校に進むも挫折し、紆余曲折を経てEXILEの初期メンバーとなったATSUSHIさん。音楽のジャンルでは、一番貸し出されている作品です。音楽が好きで、歌うことが大好きで、「僕の歌を聴いてくれたすべての人に、幸せになってもらいたい。」と思っているATSUSHIさん。第1章「夢」には、次のような一節があります。「今の世の中は、夢を見るのが難しい時代だと言われている。しかし、そんなことはないと思う。夢を見るのが難しかったり、簡単だったりすることはない。夢は自分の意志で見るものだ。」～♪ 陽はまたのぼってゆく 夜明けはそばに来てる どんな暗い闇の中でも 明けない夜はないと信じて 未来のため 何かを感じてる ♪～（Rising Sun EXILE）ダンスももちろんかっこいいですが、歌詞もまた深く心に響きます。音楽は人を幸せにしてくれる、そんなことを思わせてくれる1冊です。

